

矢巾町定例記者会見

日 時：令和2年1月7日（火）
午前9時～午前9時30分
場 所：役場2-2会議室

【内容】

- 1 おそなえ餅鏡開きの開催について
（産業振興課）
- 2 奇祭スミつけ祭りの開催について
（産業振興課）
- 3 子ども議会の開催について
（学務課）
- 4 令和元年度児童生徒顕彰メダル授与式の開催について
（学務課）
- 5 第44回矢巾町郷土芸能大会の開催について
（社会教育課）
- 6 矢巾町民劇場第24回公演「私説徳丹城史 沃野ひらけて」
の開催について
（社会教育課）

矢巾町定例記者会見発表事項概要書（予定）

No. 1

発表日時	令和2年1月7日（火）午前9時から
案件名	おそなえ餅鏡開きの開催について
所管部署	産業振興課 農林係 担当者 民部田 一成

発表要旨

○日時 令和2年1月14日（火）午前11時30分から

○場所 社会福祉法人矢巾親和会やはばこども園

○主催 矢巾町

○出席者 矢巾町長、岩手中央農業協同組合代表理事組合長
 岩手中央農業協同組合もち米生産部会^{まい}矢巾支部長
 岩手中央農業協同組合矢巾地域営農センター所長
 矢巾町 福祉・子ども課長、産業振興課長
 やはばこども園きりん組年長児16名、先生数名

○内容 令和元年12月27日（金）のおそなえ贈呈式に続いて行う園児への年中行事体験と食育活動の一環として開催します。

岩手中央農業協同組合もち米生産部会^{まい}矢巾支部から、やはばこども園へ鏡餅の贈呈、その後、園長先生からおそなえや鏡開きの由来等のお話をいただいた後、地元産もち米を使用してつくられたお餅を使った昼食会を行います。

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 2

発 表 日 時	令和2年1月7日（火）午前9時から
案 件 名	奇祭スミつけ祭りの開催について
所 管 部 署	産業振興課 観光物産係 担当者 永 村 さほり

発表要旨

冬の風物詩として地域をはじめ町内の方々に親しまれている「奇祭スミつけ祭り」が下記日程で開催されます。

この祭りは「焼^{やき}観^{かん}音^{のん}お年^{とし}越^{こし}行事」として四百数十年前から城内地区に伝えられており、災難消除や無病息災、五穀豊穰を祈りお互いの顔にスミ（消し炭）を付け合う「奇祭」といわれており、毎年多くの来場者があります。

当日は、（餅・みかん・豆まき）のお振る舞いもあります。ご家族や友人などお誘い合わせのうえご参加ください。

記

- 日 時 令和2年2月1日（土） 午後6時～午後8時
- 場 所 千手観音堂（実相寺裏） 矢巾町大字煙山第6地割84番地1
- 問合わせ スミつけ祭り実行委員会事務局（実相寺内） 電話697-5631

また、矢巾町観光協会では、下記期間でスミつけ祭り写真コンクールを行います。

応募期間：令和2年2月3日（月）～12日（水）

問合わせ：矢巾町観光協会（矢巾町産業振興課内）電話611-2605

なお、スミつけ祭り写真コンクールの応募作品は、下記日程で展示します。

令和2年2月27日（木）～ 5日（木） 矢巾町役場1階町民ホール

令和2年3月 6日（金）～13日（金） やはぱーく

※詳細については、別添チラシのとおり。

発 表 日 時	令和2年1月7日（火）午前9時から
案 件 名	子ども議会の開催について
所 管 部 署	学務課 担当者 田 村 琢 也

発表要旨

- 日 時 令和2年1月24日（金）午後2時から
- 場 所 矢巾町役場4階議場
- 目 的 町の未来を担う子どもたちが自分たちで課題を発見し、町の問題点や夢などの提言をとおして、政治や地域に対する関心を深めるとともに、町づくりに参画する意識を高め、郷土を愛する心を育てることを目的とします。
- 構 成 小中学校 各校4名
- 実施方法
 - ・議員は、各学校で選出する児童生徒とします。
 - ・一般質問の質問者は、代表1名とし、それぞれ「一問一答方式」とします。
 - ・質問は原則として「1人1問、4分以内」とします。
 - ・SDGsにおける17の分野から質問要旨を作成します。

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 4

発表日時	令和2年1月7日（火）午前9時から
案件名	令和元年度児童生徒顕彰メダル授与式の開催について
所管部署	学務課 担当者 田村琢也

発表要旨

○日時 令和2年2月15日（土）午前10時30分から

○場所 矢巾町田園ホール

○内容 町内の小中学生が体育部門や文化部門の県大会以上の大会において、優秀な成績を収めた児童生徒に対し、町長より顕彰メダルを授与します。

【今年度該当者】

小学校 個人の部	18人
中学校 個人の部	25人
計	43人

小学校 団体の部	55人
中学校 団体の部	136人
計	191人

(うち11名重複のため実人数 180人)

合計 223人
(令和元年12月23日現在)

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 5

発表日時	令和2年1月7日（火）午前9時から
案件名	第44回矢巾町郷土芸能大会の開催について
所管部署	社会教育課 文化財係 担当者 花立 政広

発表要旨

- 日時 令和2年1月19日（日）午前10時から
- 場所 田園ホール（入場無料）
- 内容 この郷土芸能大会は、町内に古くから伝わる郷土芸能を公開し、広く鑑賞する機会を提供するとともに、郷土芸能の伝承保存に努めている団体の活性化を図ることを目的として開催します。
 今年は、町内団体6団体が出演します。
 また、ゲスト団体として普代村の鶉鳥神楽が出演します。
- 出演団体 町内団体6団体
 [白沢神楽保存会、南矢幅さんさ踊保存会、徳丹獅子舞保存会、
 煙山田植踊保存会、矢巾町民謡保存会、下赤林芸能保存会]
 ゲスト団体1団体
 鶉鳥神楽保存会（普代村）

※詳細については、別添チラシのとおり。

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 6

発表日時	令和2年1月7日（火）午前9時から
案件名	矢巾町民劇場第24回公演「私説徳丹城史 沃野ひらけて」の開催について
所管部署	社会教育課 生涯学習係 担当者 門脇耕一
<p>発表要旨</p> <p>○日時 令和2年2月8日（土）午後6時30分開演 9日（日）午後1時30分開演</p> <p>○場所 田園ホール</p> <p>○主催 矢巾町民劇場実行委員会、田園ホール（東北共立・寿広グループ）</p> <p>○入場料 一般1,000円、高校生以下500円（当日200円増）</p> <p>○プレイガイド 矢巾町内：田園ホール、ショッピングモールアルコ、総合衣料かわむら、昆源本店、ローソン矢巾南矢幅店、ローソン花矢巾ニュータウン店、セブンイレブン矢巾高田店 矢巾町外：（紫波町）盛岡南ショッピングセンターナックス （盛岡市）セブンイレブン盛岡内丸店、セブンイレブン盛岡夕顔瀬町店</p> <p>○内容 矢巾町民劇場実行委員会では平成5年に旗揚げ公演を行って以来、演劇を通して町民の社会参加、芸術文化活動の振興を図るため、脚本や演出、出演者はもとより照明、音響、舞台セットなどの裏方に至るまで「すべてが町民による手作り舞台」を上演してきました。</p> <p>24回目を迎える今回は、本町が全国に誇る『徳丹城跡』が国指定史跡となつて50年の節目の年となったことを受け、平成18年上演の徳丹城モチーフの公演を再演いたします。内容を全編徳丹城の時代に置き換え、当時の人々に思いを馳せつつ、いつの時代も変わらない人と人とのつながりの大切さを考えさせるストーリーとなっており、スタッフ一同、新たな気持ちで取り組んでいます。</p>	

主イベント

【お知らせ】

1月上旬から2月中旬までの主なスケジュール

- 1月12日（日） 矢巾町成人式
（午後1時30分～ 田園ホール）
- 13日（月・祝） 矢巾町民謡保存会65周年記念大会
（午前11時～ 田園ホール）
- 14日（火） おそなえ餅鏡開き
（午前11時30分～ やはばこども園）
- 18日（土） やはばHot stationスペシャルショップ
（午前10時～ JR矢幅駅東口）
- 19日（日） やはばHot stationスペシャルショップ
（午前10時～ JR矢幅駅東口）
第44回矢巾町郷土芸能大会
（午前10時～ 田園ホール）
- 24日（金） 子ども議会
（午後2時～ 役場4階議場）
- 2月 1日（土） スミつけ祭り
（午後5時～ 実相寺裏の千手観音堂）
- 7日（金） 町民スポーツ大会総合閉会式
（午後6時～ 町公民館3階大研修室）
- 8日（土） 矢巾町女性のつどい
（午後1時30分～ 町公民館）
矢巾町民劇場第24回公演「私説徳丹城史 沃野ひらけて」
（午後6時30分～ 田園ホール）
- 9日（日） 矢巾町民劇場第24回公演「私説徳丹城史 沃野ひらけて」
（午後1時30分～ 田園ホール）
- 13日（木） 2月定例記者会見
（午前9時～ 役場2階2-2会議室）
2月町民懇談会
（午前10時～ 町公民館3階大研修室）

※イベントの詳細については、直接、担当課にお問い合わせください。

第9回スミつけ祭り写真コンクール最優秀賞作品

スミつけ祭り

奇祭

令和2年2月1日(土) 18時～

開催場所: 實相寺裏・観音堂

問合せ先: スミつけ祭り実行委員会事務局

☎ 019-697-5631 (實相寺)

スミつけ祭りとは

矢巾町城内地区に四百数十年前から伝わる奇祭です。

別名「歳袴焚き（せあどたき）」とも呼ばれる観音堂のお年越し行事であり、
災難除けや無病息災を祈り、顔にスミを付け合う祭りです。

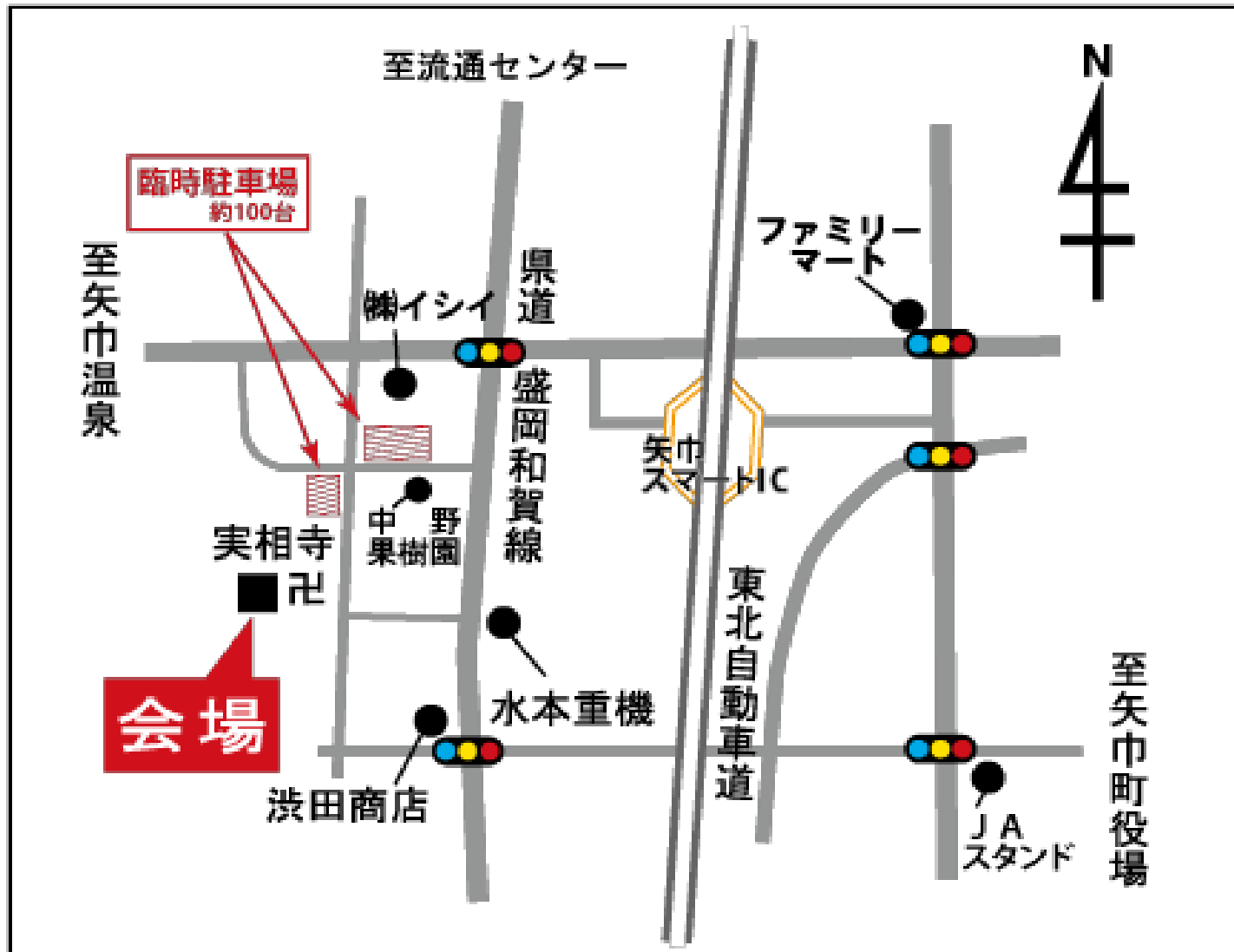
18:00～ スミつけ祭り開始



18:15頃 餅・みかん・まめまき



19:30頃
スミつけコンテンツ
記念品贈呈



※ 当日の会場周辺は混雑が予想されます。
路上 駐車はご遠慮ください。

第44回 矢巾町郷土芸能大会

ふるさと
の思いをつなぐ

特別出演

国指定重要無形民俗文化財

うのとじ
鶺鴒神楽

普代村鶺鴒神社を起点に久慈市から
釜石市を隔年で巡行する
全国的にもめずらしい陸中海岸の廻り神楽

南昌山麓で神楽が出会う

白沢神楽「山の神」

鶺鴒神楽「患比寿舞」

出演団体



南矢幅さんさ踊



白沢神楽



徳舟獅子踊



矢巾町民謡保存会



特別出演

鶺鴒神楽(普代村)



下赤林さんさ踊



煙山田植踊

(上から出演順)

会場：矢巾町 田園ホール

入場無料 全席自由 ※食事の販売も行います

主催：矢巾町郷土芸能保存会、矢巾町教育委員会

共催：矢巾町芸術文化振興基金運営委員会

後援：(一社)岩手県文化財愛護協会、矢巾町観光協会

矢巾町芸術文化協会、不動つ子の集い実行委員会

問合せ：矢巾町郷土芸能保存会事務局(矢巾町教育委員会事務局社会教育課文化財係 019-611-2860)

令和2年1月

19日 日

10時開演(開場9:30)



「鵜鳥神楽」ってどんな神楽

第44回矢巾町郷土芸能大会にお招きする鵜鳥神楽は、2015年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。その主な理由は、宮古市の黒森神楽（2006年国指定）と同じように陸中沿岸地方の廻り神楽（1995年に両神楽は文化庁の記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財に選択された）として広い範囲を巡りながら祈禱と神楽の旅を続けている希有な神楽ということです。

江戸時代までの神楽は、山伏修験や社家の専業で法度により自分の定められたテリトリー（霞場）の範囲でしか権現祈禱と神楽を演じる事が出来ませんでした。黒森神楽は、南部藩の裁許状をたてに江戸時代初期より陸中沿岸の修験の霞を越えて活動しており、各集落の修験との訴訟問題をたびたび起こしていました。この様な事が出来た背景には、南部藩の庇護と黒森大権現に対する信仰があったからです。一方、鵜鳥神社（卯子西大明神）も黒森神社（黒森大権現）と同様に義経伝説があるほど古く広い信仰を持っていましたが、依拠する鵜鳥神楽は、霞の範囲でしか活動していませんでした。明治維新後、神仏分離令によって修験道が廃止（後に復活）され修験の霞が無くなり、鵜鳥神楽は、周辺の神楽衆を加えて神楽の巡行を始めました。鵜鳥神楽の巡行は、元々あった卯子西大明神への信仰（鵜鳥神社）に依拠したため、行く先々の集落からも歓迎され広がりました。鵜鳥神楽は、特に漁業者の信仰が篤く、釜石市室浜の漁業者が、卯子西大明神の導きで嵐から逃れて無事帰還したと言う話も伝えられ、それ以降毎年鵜鳥神社祭礼に船を仕立てての参詣を欠かさないとのことです。

鵜鳥神楽の巡行を辿ってみると北廻りは、普代村を起点に岩泉町、野田村、久慈市小袖まで及びます。南廻り巡行は、普代村、岩泉町、田野畑村、宮古市、山田町、大槌町、釜石市に及び、宮古より北の地域で鵜鳥神楽と黒森神楽が共に巡行しています。この様に1月から3月の間、久慈市から釜石市までの集落では、神楽巡行が途切れなく行われており、民俗の基層に神楽があるといえます。



東日本大震災と鵜鳥神楽



北廻り巡行が終了していた2011年3月11日、三陸沿岸一帯は大津波襲われ鵜鳥神楽衆も巡行宿も大きな被害を受け、引退した神楽衆の一人も犠牲になってしまいました。2012年の南廻り巡行は、舞立神事のみを行い巡行宿を自粛しましたが、復興支援など依頼された出演には応じました。鵜鳥神社例大祭は、震災犠牲者の鎮魂と復興祈願のために行いました。2013年の北廻り巡行までは宿取りを自粛し、舞立儀礼を行い、公演依頼や復興支援などに応じ、神楽の火を灯し続けました。2014年の南廻りは宿取りをして巡行を行い、鎮魂と復興支援の旅に出ました。しかし次代のリーダーとして活躍していた神楽衆が急逝し、またもや暗礁に乗り上げてしまいました。その悲しみと危機を若い力と先輩が結束して乗り越え巡行を再開し、舞納めました。その後、村の若者を加えながら鍛錬して保存会の拡充を図り、2015年に国の指定を受けるに至りました。

鵜鳥神楽の演目

鵜鳥神楽にとって最も大事なものは、権現舞です。権現様を携えてこそ神楽巡行が行えます。権現とは、姿の見えない神様の仮の姿の意味で鵜鳥神社の神霊を移して権現様になります。巡行では、神楽宿に入る場合シットギ獅子という舞込み儀礼で権現様を舞わします。宿での神楽は、重要な祈禱の舞である役舞の何曲かを必ず舞います。演目としては「岩戸開」「岩長姫」「御祈禱」「御神楽」「榊葉」「松迎」「山の神」「恵比寿舞」「清祓」の9曲です。その他に「荒舞」「品舞」「かずらもの（女舞）」「狂言」「仕組み」など多彩な演目を4・5時間くらいの間に12曲ほど上演します。現在は余り宿に宿泊する事はありませんが、以前は興がのると夜中まで続き、大きい集落ですと二晩夜神楽を行いました。その場合は、役舞に準じた「マタフタゲ」という舞に替えて観客を飽きさせないようにしました。



上演演目「清祓」

イザナギノミコトの一人舞。桃の枝と塩、太刀で四方を祓い清めます。桃は、イザナギノミコトが黄の国から逃げるときに桃を投げつけて悪魔を払ったということから使われます。

上演演目「恵比寿舞」

漁業の神様として大漁祈願・海上安全・商売繁盛を願って舞います。沿岸では観客が飛び入りで一緒に舞ったりするほど人気が高く、本物の鮭なども釣り上げます。

白沢神楽

地元の白沢神楽は、山の神を舞います。旧南部領全域の神楽には、必ず山の神舞があり、最も大事な祈禱舞として位置づけられています。早池峰系神楽の詞章では、大山祇命の舞とされあらゆる災難を祓い清める舞とされています。鵜鳥神楽の舞う神は、山の神でその父親は大王と母親金毘羅さいよし御前がもうけた12人の子どもと言う下りになっており、神仏習合的な解釈が成されています。

白沢神楽は、大正時代に狛森神楽と上白沢神楽が一緒になって現在に継承されています。狛森神楽は、早池峰系の神楽を伝承していたようですが、上白沢神楽は、多賀神楽系の江戸里神楽を継承していたと考えられ、演目的には早池峰系の神楽として存続しています。

現在矢巾町には、唯一の神楽として8月から9月にかけて16カ所の神社祭礼に奉仕しています。町内には昭和40年代まで岩清水神楽が熊野神社に奉納していましたが後継者不足で中断しています。



矢巾町の民俗芸能



矢巾町には、神楽・大神楽・田植踊・念仏剣舞・鹿踊・さんさ踊などの民俗芸能があります。それらは江戸時代の村単位で伝承されて来ました。それが現在の団体名になっています。

神楽は、祭礼に深く関わる修験や社家の職分で一般の人は行えませんでした。大神楽も七軒丁と言う藩お抱え芸能集団の采配を受けていました。田植踊は集落の契約講などが采配をふるって小正月に豊作を祈願して行いました。念仏剣舞は、庭元を中心に組織され盆供養に集落を巡りました。獅子踊は、庭元を中心に組織され祭礼奉納や盆供養の門付けを行います。さんさ踊は、基本的に盆踊ですが、鎮守の宵宮で集落ごぞって楽しむ踊として行われています。

やはばHotstation



スペシャルシヨップ

矢巾町の新鮮野菜はもちろん、お菓子や雑貨など、矢巾町の「美味しい」「カワイイ」が集まります。今話題の矢幅駅に降り立ち、ちょっと一息ついてみませんか。

1 / 18(土) 午前 10時 ~ 午後 6 時

1 / 19(日) 午前 10時 ~ 午後 4 時



Hot①
ホットな矢巾町の
おススメ品を販売します

- 矢巾町産お野菜
- お菓子 ● パン ● 特産品
- 雑貨 など…



Hot②
ほっとひとやすみ
していきませんか？

- コーヒー 1杯 ¥150
- 甘酒 1杯 ¥150
- プチおでん ¥200
(大根&たまご)



Hot③
ホットなお振舞い

びすとろ銀河シェフによる
町産野菜を使ったスープのお振舞い
18日(土) 12時、13時、14時からの3回。
数量限定ですのでお早めに！



<出店協力店舗、団体>

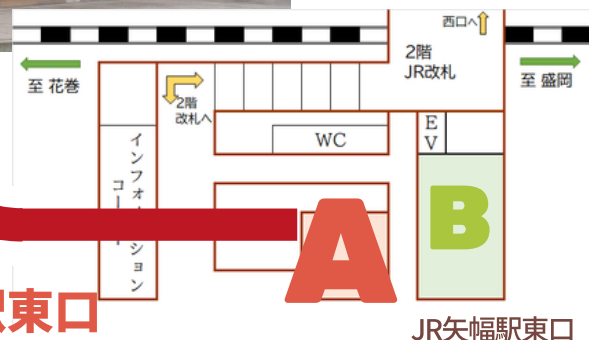
矢巾観光開発(株)、お菓子とお花の喜助堂、
あさあけの園、888yummy!!
すずみ屋、羽迦、LICO、Maitama、
村松美穂、村松京子、川村真由美、立花剛、
福澤真由美、沼田昌子 他(敬称略)

ココです



JR矢幅駅東口

会場：
JR矢幅駅東口
「スペシャルスペース」
(MAP内「A」エリア)



同時
開催

やはばHotstation

1/18 出張!びすとろ銀河

1/19 ほっと一息! ワークシヨップ広場

会場：JR矢幅駅東口 「HABATAG(ハバターク)」
(MAP内「B」エリア)

【企画運営・問い合わせ】

矢巾町地域おこし協力隊 藤岡裕子

TEL：019-601-2871

MAIL：yukoco_0914@yahoo.co.jp

【共催】矢巾町・矢巾観光開発(株)

(一社) 矢巾地域町づくりコンソーシアム

※イベントの詳細は予告なく変更する場合がございます。

1/18(土) 開催 出張!!びすとろ 銀河

IGRいわて銀河鉄道線 青山駅にある人気洋食レストラン「びすとろ銀河」 矢巾町へ初進出!!

矢巾町産野菜をふんだんに使った

スペシャルランチプレート ¥1,000(税込み)

限定
40名様

- 定員：各回20名（申込先着）
- 時間：1回目 11：30から
2回目 13：30から
- 申し込み：TEL,FAX,メールにてお申し込みください

事前の
お申し込みが
必要です



※写真はイメージです。

ハバターク内 出張びすとろ銀河申込み係 [担当：藤岡]

TEL：019-601-2871 FAX：019-601-2872

MAIL：yukoco_0914@yahoo.co.jp

※TELは
平日10:00~17:00受付

1/19(日) 開催

ほっと一息! ワークショップ広場

①羊毛フェルトでコースターづくり



※完成イメージ図
土台の色は選べます。

- 講師：すずみ屋 平野利穂さん
- 時間：11：00～15：00
- 所要時間：約30分程度
- 持ち物：不要
- 参加費：600円

予約不要。お好きな時間に来ていただ
いて結構ですが、参加者多数の場合
はお待ちいただく可能性があります。

②りんごクレープをつくろう!!



※完成イメージ図

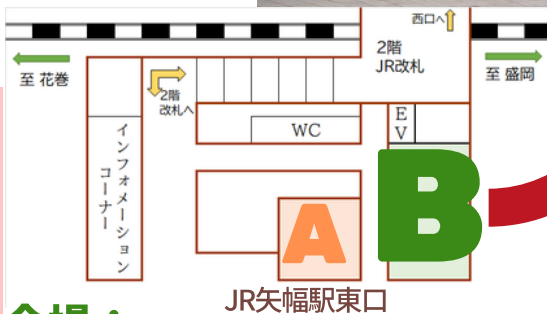
町産のりんごを使った
ジャムとスライスを作り、
クレープで巻きます。

- 講師：kuru crepe
田口いずみさん
- 時間：1回目 11：00～
2回目 14：00～
- 定員：各回8名
- 所要時間：約60分程度
- 持ち物：エプロン・三角巾
- 参加費：小学生以下 800円
大人 1,000円

当日朝10時から会場にて整理券を
配布いたします。整理券がなくなり
次第受付終了となります。



JR矢幅駅東口



ココです

会場：
JR矢幅駅東口「HABATAG(ハバターク)」
(MAP内「B」エリア)

両日開催 やはばHotstationスペシャルショップ
会場：矢幅駅東口スペシャルスペース
(MAP内「A」エリア)